

アイ・あい だより



3月号



もうすぐ春ですね♪



厳しい寒さも少しずつ和らぎ、ぽかぽかとした春の陽気を感じられるようになりましたね。

今年度も、残すところ後1ヶ月となりました。教育相談をはじめ、保護者交流会や研修会、サマースクールなど、今年度の本校の活動に御参加、御協力いただき、ありがとうございました。

支援部ではこれからも、子どもたちのひとつひとつの変化を保護者のみなさん、先生方と喜び合い、共に成長を支えていきたいと考えています。

みなさんのご意見・ご感想を ぜひお聞かせください。



相談室からのお知らせ

いつも、教育相談にご理解・ご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、来年度の教育相談ですが、4月の相談につきましては、4月1日以降に電話でご予約ください。なお、本校に入学されました幼児児童生徒のサポートを優先的に行うため、4月の相談についてはご希望の日時に合わないこともあります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

5月以降につきましては、校外の教育相談を中心に実施していく予定としております。

来年度も どうぞよろしくお願いたします。



「歩行」小百科

いよいよ最終回になりました。今回は手引き歩行で出会う様々な場面についてです。

1 イスへの誘導

バスや電車でイスに誘導する時には、背もたれに触れてもらうとわかりやすいです。電車で横向きのベンチシートの時には、座面に手や脚に触れさせるといいです。机がある場合は机にも触れさせるとわかりやすいです。

2 クロック・ポジション

アナログ時計の文字盤を理解している視覚障害者には、「クロック・ポジション」を使うと便利です。食事をするときには、「8時にご飯、4時に味噌汁、中央におかずの焼き魚」といった具合です。この時、どの範囲を時計(文字盤)に見立てるかがポイントです。例えば、ひとつの皿の中なのか、トレーの中なのか、テーブル全体なのか ということです。

食事以外にも、進行方向や建物などの位置を知らせる時に便利です。相手を時計の文字盤の中央に位置させ、正面が12時、後ろが6時として表します。

3 あっち、こっち、どっち?

方向についての指示や説明は、**相手にとっての右・左・前・後ろ**で、具体的に伝えましょう。「あっち、こっち」などの指示名詞だけではわかりません。しかし、児童生徒に空間認知を教えるなかで、距離感、位置関係、方向感覚をつかませるためには、これらの言葉は必要です。使い分けていきましょう。

4 雨の日

大きめの傘で一緒に入って歩くと良いですね。二人とも傘をさしてもいいのですが、どうしても肩や腕が雨に濡れます。レインコートを着用するのも良いです。

5 暑い夏の汗対策

夏の日には半袖で手引きする場合、視覚障害者の手にハンカチを持ってもらうなどして、お互いの汗がつかないようにするとよいでしょう。お互いに気持ちよくしたいですからね。ただずっと持ち続けるのはしんどいし、落とすこともありますから、手引き者が**タオル地の袖カバー**のような物を用意すると便利です。タオルハンカチをゴム紐で腕に留めるというのも簡単にできます。

6 おしゃべりしましょう!

これは技術ではありません。歩いている所の風景や気がついたこと(例:花がきれい!)など、いろんな情景を共有して歩きましょう。視覚障害者にとって移動(歩行)自体が楽しいものになり、様々な意欲にもつながっていきます。また子どもたちにとっては、知識や語彙が豊富になっていく絶好の機会です。触ることが可能なものなら、どんどん実際に触らせてみるといいですね。何事も本物の実体験が大切です。

ただし、**安全面の注意を忘れないでくださいね!**

さて、6月号から歩行に関する様々な事柄について紹介してきました。視覚に障害がある方々が、自由にどこへでも歩いていけるように、どんどん実践して行って欲しいと願っています。季節は陽射しや風が心地よい春になっていきます。積極的に外を歩きに行きましょう!

